

猫塚義夫×清末愛砂

「平和的生存権を実現させるために」

『平和に生きる権利は国境を超える』

(あけび書房)刊行記念

12/4(月)19:30～ オンライン(ZOOM)



お申し込み・詳細は Peatix <https://bb231204b.peatix.com/> QRコード→



※本イベントはリアルタイム配信と見逃し視聴(1ヶ月)でご参加いただけるイベントです。

※本イベントの利益(イベント運営のための経費を除く)は「[北海道パレスチナ医療奉仕団](#)」に寄付します。

※配信のみのチケットでは、学割を適用したチケットも用意しています。学割チケットをご購入の際は、お申込みの際に学校名をご記載ください。

2023年10月7日のハマースの急襲と、その後のイスラエル軍によるガザに対する大規模な軍事攻撃の開始を受け、同年11月に『平和に生きる権利は国境を超える』(あけび書房)が緊急出版されました。本書は、パレスチナで長年医療支援活動に携わってきた猫塚義夫さんと、憲法研究者として子ども支援活動やアフガニスタンの女性団体との連帯活動に従事してきた清末愛砂さんの共著です。

ガザの人々は、イスラエルによる軍事封鎖でほとんどガザの外に出ることができない世界最大の「天井のない牢獄」といわれるところに16年間住んでいます。16歳以下の子どもたちは生まれたときから戦争しか知らず、そしてガザの人口の40%以上は18歳未満の子どもだそうです。

本書の中で、清末さんはハマースの急襲について、とりわけ民間人に対する無差別攻撃や拉致は国際法上も倫理的にも決して許されることではないと述べています。一方で、この事件がなぜ急に起きてしまったのかについても視点が必要です。

ガザでは、病院や国連の施設までもが空爆の被害を受け、深刻な状況となっています。

私たち日本人は、国際社会に生きる人間としてできる行動について考えなければなりません。

今回、本屋B&Bではパレスチナ支援のためにできることとして、利益を「[北海道パレスチナ医療奉仕団](#)」に寄付するためのトークイベントを開催します。

長年パレスチナの支援に携わってこられたお二人に、「平和的生存権」を軸にお話しいたします。イベントでは、オンライン上でお二人への質問も募集いたします。ぜひ、多くの方にご参加いただけますように。

【書籍付きチケットについて】

- ・ イベント関連書籍を、イベント配信チケットとセットで販売いたします
- ・ ご記入いただいた住所は、書籍発送以外の目的には使用いたしません

【主催】本屋B&B(世田谷区代田2-36-15 BONUS TRACK 2F)

<お問い合わせ先>event(at)bookandbeer.com ※(at)を@に変換して送信してください

【協力】あけび書房/市民社会フォーラム